

おおさき

第9号



# 市議会だより

編集発行 大崎市議会 郵便番号 989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24番地3 電話0229(52)5838



## ラムサール条約湿地登録に申請する化女沼（古川地域）

### 目次

- 第1回定例会 ..... 2～3ページ
- 議会の主な動き ..... 2ページ
- 予算特別委員会 ..... 4～7ページ
- 特別委員会報告 ..... 8ページ
- 会派代表質問 ..... 9～10ページ
- 人事・意見書・請願 ..... 11ページ
- 議案と審議結果 ..... 11～12ページ
- 編集を終えて ..... 12ページ

# 第1回定例会

# 平成20年度一般会計予算額 533億5,200万円を可決

平成20年第1回定例会は、2月13日に招集され、3月5日までの22日間の日程で行われました。

今定例会には、市長提出の平成20年度大崎市一般会計予算を初めとする予算案31件、条例案30件、専決処分の承認案4件、人事案6件、報告2件、その他6件及び議員提出議案4件が提出されました。

このうち、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算、議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例は、修正可決され、その他の議案は、原案のとおり可決されました。

提案された議案のうち、補正予算関係などについて質疑が行われ、その主な内容は次のとおりです。

## 市税過誤納還付金

**問** 市税の納付関係書類の保存期間は何年か。

**答** また、市税過誤納金の還付は何年までさかのぼるのか。

**答** 市税の納付関係書類の保存期間は、10年である。

大崎市の市税過誤納金の還付期限は、最高で20年となっている。地方税法に基づく還付は5年、6年から20年については、固定資産税等に係る返還金の支払要綱による還付、ただし11年から20年については納税の証明があるものに対して還付する。

## 市営バス事業

**問** 市営バスの今後のあり方を現在検討していると思うが、デスティネーションキャンペーンが始まる10月に間に合うよう、急ぐべきではないか。

**答** 地域ごとにバスの運行や料金形態が違うため、1年ぐらいは検討に時間を要すると考えている。できるだけ早く、地域の方々と話し合いを進めていきたいと考えている。

## ラムサール条約登録

**問** 化女沼のラムサール条約登録に向けて、化女沼ダムの周遊道路にある民有地を購入する考えはないか。

**答** ラムサール条約登録に向けたワイズユースの考え方について、地域との協議等が調つ

## 集団資源回収事業

ていないため、現在、民有地購入の計画は持っていない。

**問** 集団資源回収事業は、ごみの排出抑制やリサイクルへの意識の向上を図る有意義な事業と考えるが、今後の方向性をどのように考えているのか。



資源回収に取り組む池月小学校父母教師会

## 議会の主な動き

13日	議員全員協議会 本会議（招集日） 予算特別委員会 建設常任委員会
15日	本会議 市民病院建設特別委員会
19日	本会議
20日	本会議
21日	議会運営委員会 建設常任委員会
22日	予算特別委員会 行財政改革特別委員会
25日	予算特別委員会 情報化対策特別委員会
26日	総務分科会、民生分科会 産業分科会
27日	総務分科会、民生分科会 産業分科会、建設分科会
28日	総務分科会、民生分科会 建設分科会
29日	予算特別委員会 市民病院建設特別委員会
3月	
3日	本会議
4日	議員全員協議会 本会議
5日	本会議
4月	
7日	情報化対策特別委員会 議会運営委員会
11日	情報化対策特別委員会 議員全員協議会
14日	
16日	

**答** 集団資源回収事業にかかわる団体数の動向や資源物の価格の動向を見きわめながら、補助単価の見直しと事業が活用されていない地域へ周知を図っていきたい。

**低所得者利用者負担対策事業**

**問** 老人保健施設の利用料金については、低所得者に対する軽減の規則改正を行い、平成19年12月分の利用料金から適用されているが、その内容等の周知はどのように行っているのか。

**答** 低所得者に対する軽減の規則改正については、今後、市の広報等への掲載や被保険者証の交付の際に、啓蒙チラシを同封するなどの方法により周知していききたい。

**中心市街地再開発事業**

**問** 中心市街地再開発の次のステップをどのように考えているのか。

**答** 中心市街地の位置づけ、空洞化、少子化等課題は深刻な状況にあるので、中心市街地活性化基本計画、市街地活性化推進プランの策定作業を進めながら、官民一体となつ

て事業を推進していききたい。

**政策専門員**

**問** 観光政策の重要な政策全般を政策専門員にお願いしているが、月2回程度の活動で十分に役割が果たされたのか。

**答** 入り込み客数の伸び、観光を通じた地域づくりに対する下地づくりに十分に効果があったととらえている。



シテイマネジメントプロデューサー清水慎一氏の講演会

**鳴子峡災害復旧事業**

**問** 鳴子峡の既存の遊歩道の開放区間と新ルートが離れているが、レストハウスまでの誘導対策をどのように考えているのか。

**答** 新ルートは、レストハウスから大深沢を眺望、散策し

てレストハウス駐車場に戻ってくるコースとなっており、散策案内表示等の設置で対応したい。

**問** 開放区間への散策は、レストハウス駐車場から開放区間入り口までの中間点あたりに、ビューポイントを設けるなどの誘導策を考えている。

**古川駅南駐車場**

**問** 古川駅南駐車場を月決め駐車場にする考えはないか。

**答** 古川駅南駐車場は駅利用者の一時的な利用を目的とし、多くの方が利用している。月決めめの駐車場については、今後、駅周辺の状況等を踏まえながら検討していききたい。

**自動体外式除細動器 (AED) 設置**

**問** 幼稚園、小中学校へのAEDの設置状況は。

**答** 小学校1校、中学校3校については、既に設置済みである。今回の補正予算で、未設置校すべてに設置できると考えている。

幼稚園への設置は、全体で43台が必要と見込まれるが、今回の補正予算では、小中学

校から離れている幼稚園から優先して設置していききたい。

**鹿島台学童農園**

**問** 鹿島台学童農園は非常に環境がよく、内容が充実した施設であるので、もっと活用を推進すべきと思うが、その対策は考えられているのか。

**答** 鹿島台学童農園については、小中学校の校長会等でパンフレット等を配付し、PRをしているが、利用者に偏りがある。

今後、小中学校のほか企業関係にも、勤労青少年ホームの利用とあわせてPRしていきたい。



鹿島台学童農園

**公民館長報酬**

**問** 公民館の館長報酬に大分ばらつきがあるが、統一する考えはないのか。

**答** 公民館運営審議会や職員による地区公民館の運営に関する検討会議で、公民館のあり方について検討を行っており、指定管理のあり方とあわせて検討する方向で考えている。

**市民病院職員時間外勤務手当**

**問** 市民病院が労働基準監督署からは正勧告を受け、支払うことになった時間外勤務手当分について、予算の補正は必要なのか。

**答** 応援医師等の報酬に若干の余裕があったため、既存の予算内で対応できると考えており、予算の補正はしていない。

※ワイズユースとは。湿地の恵みを賢く使うこと。

**第1回 定例会**  
傍聴人数 **49人**  
※皆様の傍聴をお待ちしております。

# 平成20年度 予算特別委員会総括質疑

平成20年度の一般会計を初めとする16会計の予算並びに関連議案が提案され、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置し、総括質疑の後、分科会を設置し、審査を行いました。

分科会審査の経過及び結果については、各分科会主査から報告があり、このうち議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算、議案第24号大崎市男女共同参画推進基本条例、議案第26号大崎市後期高齢者医療に関する条例、議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例、議案第41号大崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例に対し、それぞれ修正案が提出され、採決の結果、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算、議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例は修正可決すべきもの、そのほかの議案は原案のとおり可決すべきものと決しました。さらに、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算に対して附帯決議が提出され、採決の結果、可決されました。総括質疑及び答弁の主な内容は次のとおりです。

## グローバルネット

### 大崎市市民病院改革プラン等 策定検討会議委員の選任

**問** 大崎市市民病院改革プラン等策定検討会議の委員を選任するに当たっては、地域の医療環境に熟知した方を十分配慮した、慎重な人選が必要だと思いが、どのような人選をするのか。  
**答** 委員の選任については、学識経験者はもちろんのこと、

## 「大崎市食育推進計画」の 策定状況

**問** 食育推進と地産地消は車の両輪の関係でもあり、今後大崎市の食と農の構築のためにも、各種団体等と積極的に連携をしながら推進すべきと考えますが、具体的な内容について伺う。  
**答** 医師会等の専門家の皆さんや、まちづくり協議会等の地域団体等の代表の方々にお願ひし、20名程度の委員としたい。

## 大崎セブンネット

### マガンの里推進

**問** マガンの里推進係が農林振興課内の自然共生推進係に包含され、田尻総合支所には担当が置かれるようだが、位置づけと人員配置について伺う。  
**答** 家庭を中心に学校・幼稚園・保育所・地域及び行政などの関係機関が連携できるネットワークの構築を進め、家庭を取り巻く地域社会への食育の浸透を図りながら、生産者や栄養士・流通や商業など多くの皆様の御意見をいただき、食育を推進していきたい。

## 大崎市男女共同参画 推進の施策展開

**問** 旧岩出山町の条例を基本とし、「大崎市男女共同参画推進基本条例」が提案された。市が取り組む苦情相談、一時避難体制の整備、活動拠点の整備等の施策展開を伺う。  
**答** 現在、苦情相談は、JR古川駅前のふるさとプラザで、月2回開催している。旧岩出山町時代には、他の地域で相談をする方が大変多かったという例があり、相談場所の数も含め審議会と相談しながら進めたい。

## 黎明クラブ

### 三木P.A.スマートIC 整備事業

**問** スマートICへのアクセス道路のルート検討について、地域代表者を参加させ、地形や地域の特性を反映させるべきと考えるがどうか。  
**答** 平成18・19年度で約8千万円を投入し、現況測量を行い、基準点の設置も済んでいる。

## 市民病院事業の持続は

**問** 病院事業改革の基本方針で、鹿島台分院、鳴子温泉分院、岩出山分院の指定管理者制度の導入、公設民営化などを検討するとして市長方針を、病院事業管理者はいかに受けとめているか、伺う。  
**答** 合併で1つの企業体となり、医師の交流による医療の質向上や、事務局管理機能の整備と民間病院との連携強化が図られ、収支も向上している。自治体病院として生き残るためには、赤字基調の分院



新設された産業経済部農林振興課自然共生推進係



ミレニアムタウンたじり

に問題が残るが、改善策として、総合リハビリとしての鳴子温泉分院、人間ドック県北版の岩出山分院、亜急性医療病院としての鹿島台分院など、生き残りの道はあると考えている。将来的には、安定的な医療提供に向けて市長と歩調を合わせていきたい。

## 大志会

### 宅地造成地の販売促進策

問 平成19年第2回定例会で販売価格を見直した後の販売状況と、今後の販売促進について伺う。

答 昨年の販売実績は、松山地域のマリス2区画と松木団地1区画、田尻地域のミレニ

アムタウンたじり6区画の9区画となっている。

ハウスメーカー等へのアンケート調査から、販売価格の見直しや記念品等の贈呈だけでは早期の完売は厳しいものがあるため、以前に旧松山町が行っていた報奨金制度を戦略的に採用し、ハウスメーカー、大工さん等の協力をいただきながら、直接販売の難しさを補っていくことにしている。

### 日本共産党大崎市議会議員団

#### 雇用対策事業

問 人間を物のように扱う日雇い派遣などの労働者派遣は、法の抜本的改正が必要だが、今ある派遣法に違反する状態である。長時間、超過密労働も深刻である。

市長は、施政方針で「雇用の安定に努めるとともに、労働環境の改善や格差の是正を図るため、正規雇用の働きかけ等を行うっていく」と述べたが予算はゼロである。宮城労働局、労働基準監督署などの協力も受けながら、地方自治法第157条に定められている「公共的団体等の監督」という首長の権限を活用するのに、予算ゼロでやれるのか。

答 既決予算で対応していく。さまざまな場で、趣旨を実現できるように努力していく。

## セントラル大崎

### 情報化推進事業

問 企業誘致を進める際に、情報インフラの整備は重要なポイントとなる。三本木地域も含む工業団地などのブロードバンド化はどのようにしているか。

答 市街地から離れた地域は民間の整備が進まないため、自治体が保有する地域インターネットの開放や情報基盤を整備し、貸与するなどの手法で、均質な環境を整えることが重要であると考えている。情報化社会の中で、環境が整っていないと「情報過疎地帯」と色塗りされるので、該当する地域を、光ブロードバンドサービス提供の優先地域と位置づけ、早期サービス開始に向けた努力をしていきたい。

### 議会中継のお知らせ



本会議開催中、インターネットによるライブ中継を実施しております。ホームページアドレスは次のとおりです。  
<http://www.city.osaki.miyagi.jp/sikai/>

## みらい・おおさき

### 大崎市民病院の

#### 診療待ち時間の改善策

問 診療3分、待ち時間4時間は改善しなければならぬ。他の総合病院では、電子カルテを採用し、会計時間の短縮が図られているが、このシステムを導入する考えはないのか。

答 平成19年度末までカルテの検索システム、会計コーナーの改修、システムの変更を予定しており、平成20年度からはクレジット決済を導入する。これは、診察が終わって会計窓口に行き、カードを機械に通すだけで会計が瞬時に終わるといふシステムであり、待ち時間ゼロを目指したい。

## 社会民主党

### 旧古川合同庁舎跡地を

#### 図書館用地に取得する予算

問 旧古川合同庁舎跡地は、図書館として適地と思うが、既に社会教育複合施設用地として取得した土地の活用策を優先すべきではないか。

答 旧古川市のときは買うことができなかったため、県に

一定期間待ってもらおうよう要請をしていた。県の財政事情から、当該地の購入について、市の意向を再確認された。今回、まちづくり、中心市街地活性化等々について幅広く検討を行った結果、図書館用地としてまとまった。先行取得している土地は今後、協議させていたたく。

## 公明党

### 総務手数料見直しの基本方針

問 集中改革プランにおける総務手数料見直しの進捗状況は。

また、受益者負担の適正化の観点から、各種証明の料金改定を進めるとは、どういうことを想定しているのか。

答 平成19年度は手数料の設定基本方針を策定、平成20年度に料金算定を実施、平成21年度に新料金施行の方向である。料金の検討は、原価コストの算定、受益者負担の原則、減免基準の整理、統一化についてである。

**特別委員会**  
**予算特別委員会**  
**傍聴人数**  
**52人**  
 ※皆様の傍聴をお待ちしております。

## 予算特別委員会 分科会報告

### 総務分科会

本分科会は、議案第6号関係分、同第8号、同第16号、同第22号から同第24号まで、同第30号、同第32号から同第39号まで、同第46号から同第48号まで、同第53号、同第54及び同第57号の21万件について審査を行いました。

採決に当たっては、議案第6号関係分については2人の分科員から、また議案第24号、同第38号についてはそれぞれ1人の分科員から、予算特別委員会では修正案の提出を前提とした反対討論があり、起立採決の結果、否決すべきものと決定しました。

他の議案については、全会



図書館等の建設用地として購入する旧古川合同庁舎跡地

### 民生分科会

一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本分科会は、議案第6号関係分、同第9号から同第12号まで、同第21号、同第25号、同第26号、同第40号から同第43号まで、同第49号から同第52号まで、同第55号及び同第56号の18万件について審査を行いました。

採決に当たっては、議案第6号関係分、同第26号及び同第41号について、それぞれ予算特別委員会では修正案の提出を前提とした反対討論があり、起立採決の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

他の議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、議案第6号関係分については、予算特別委員会では附帯決議案を提出する旨の発言がありました。

### 産業分科会

本分科会は、議案第6号関係分、同第7号、同第27号から同第29号まで及び同第44号の6万件について審査を行いました。

### 建設分科会

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

本分科会は、議案第6号関係分、同第13号から同第15号まで、同第17号から同第20号まで、同第31号及び同第45号の10万件について審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しましたが、なお、附帯意見として、8款土木費、4項都市計画費、5目下水道費の財源内訳の中で、その他の財源645万円が歳入で示されていたが、その充当先の財源と差異が生じていたので、今後、このようなことがないよう申し添えました。



完成が待たれる都市計画道路李埴飯川線

## 討 論

### 議案第6号 平成20年度大崎市一般会計予算に対する修正案 (防災政策アドバイザー関係)

#### 賛 成

防災対策は、現在消防を担っている大崎広域消防をもっと充実させれば済むことである。

厳しい財政状況の中、市長等の期末手当や管理職手当の減額など、人件費の削減をしている中で、新たに政策アドバイザーを外部登用することは、財政負担がふえることになる。

計画策定段階であれば必要とも考えるが、実践段階となった今では、職員の士気を高め、諸課題に取り組むべきであり、修正案に賛成する。

#### 反 対

行政の一番の仕事は、住民の暮らしの安全を守ることである。

職員は優秀と思うが、2、3年で担当が変わることを考えれば、専門家に任せることにより、現在各地域に形が整ってきた自主防災組織などを、災害発生時に有効に機能できる防災に対するプランの作成や、実地指導等による防災に対する地域力の醸成が期待できるため、原案に賛成し、修正案に反対する。

## 平成20年度予算特別委員長報告要旨

本委員会は、議案第6号から同第57号までの議案の付託を受け、平成20年度予算並びに関連条例案等の審査を行いました。

2月22日及び25日には、総括質疑を行い、大崎市民病院改革プラン、財政再建策、政策顧問等の設置、図書館等の建設用地、企業立地促進策、子育て支援事業、後期高齢者医療制度の創設などについて活発な議論が展開されました。2月26日から28日まででは分科会を開催し、慎重な審査を行いました。

2月29日に主査報告が行われ、総務分科会では、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算関係分、議案第24号大崎市男女共同参画推進基本条例及び議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例の3力件を否決すべきもの、その他の議案については可決すべきと決定した旨の報告があり、その他の分科会は、すべて可決すべきものと決定した旨の報告がありました。

そして、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算、議案第24号大崎市男女共同参画推進基本条例、議案第26号大崎市後期高齢者医療に関する条例、議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例及び議案第41号大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対しては、原案の一部を修正する案が委員から提出され、質疑が行われました。

次いで、修正案に反対し原案賛成の立場から、また原案に反対し修正案に賛成の立場から、10人の委員から討論がありました。

採決に当たっては、議案第24号大崎市男女共同参画推進基本条例、議案第26号大崎市後期高齢者医療に関する条例及び議案第41号大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例については、起立採決の結果、修正案は否決され、原案のとおり可決すべきものと決定し、議案第38号大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部

を改正する条例については、起立採決の結果、修正案は可決されました。

議案第7号から同第23号まで、同第25号、同第27号から同第37号まで、同第39号、同第40号及び同第42号から同第57号までの47力件については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

続いて、議案第6号平成20年度大崎市一般会計予算については、起立採決の結果、修正案は可決されました。

さらに、議案第6号については、委員から附帯決議案が提出され、採決の結果、可決されました。

## 附帯決議概要

暫定施行条例として大崎市に引き継がれた、旧岩出山町が出生から高校入学時まで5回にわたり、合計で1人100万円の支援金を支給するというすこやか子育て支援金支給は、岩出山地域に限定したものである。著しく不平等であり、財政負担と行政サービスの公平、平等の観点からも問題であるため、早期に地域間不平等を解消するよう、平成20年度に支援金支給の廃止に向け、精力的に取り組むこと。

## 討 論

## 議案第26号 大崎市後期高齢者医療に関する条例に対する修正案

## 賛 成

上位法では、過料規定を各市町村の自主的な判断により条例化するものとし、設置義務はない。低所得者層への配慮が必要であり、修正案に賛成する。

## 反 対

過料は、行政上の秩序にのっとった行政処分であり、条例、規則の義務規定の履行を確保するために不可欠のものであるので、原案に賛成し、修正案に反対する。

## 討 論

議案第6号 平成20年度大崎市一般会計予算に対する附帯決議  
(岩出山町すこやか子育て支援金関係)

## 賛 成

市財政の健全化と公平、平等、平準化という観点から、各地域で行われてきた各種事業が削減されている中で、岩出山地域を限定した子育て支援金の支出は、納得の得られる事業ではないので附帯決議に賛成する。

## 反 対

既に大崎市議会で可決された、旧岩出山町から引き継いだ事業である。不公平感はあると思うが、支払う義務があるため、附帯決議に反対する。

## 特別委員会報告(概要)

## 議員定数等調査特別委員会

委員長 高橋 憲夫

本特別委員会では、平成19年第2回定例会において、次の一般選挙における議員定数及び選挙区についての調査を目的として設置された。

委員会では合併協議の経過を踏まえながら、6回にわたる鋭意調査検討を重ねた結果、次のとおり報告するものである。

選挙区については、合併した他市の選挙区設置動向や公職選挙法に規定されている選挙区設置の事由等を考慮しても、選挙区設置の妥当性が見出せないことから、選挙区を設置しないこととする。



議員定数については、合併協定を尊重するとともに、地域が拡大になったこと、定数特例から自治法に規定する議員定数への移行期であること、さらに合併後の各地域における課題に対応し、市民意思を行政に反映させるためにも、地方自治法の規定による上限数の34人とするのが多数意見である。

なお、34人からさらに減員すべきとする少数意見があった。

## 市民病院建設特別委員会

委員長 佐藤 清隆

本特別委員会では、平成18年第1回臨時会において、大崎市民病院本院及び岩出山分院の整備計画に関する調査を目的として設置された。

平成19年第1回定例会においては、市民の期待にこたえるべく早急に庁内検討組織を立ち上げ、病院経営の改善策と建設の具体案を示すよう中間報告を行った。

平成20年第1回の定例会において、市の病院事業改革の基本方針が示されたことに伴い、これまでの整備計画に限定した調査活動から、基本方針に示された新たな経営形態、

運営手法等に関する調査等の範囲を拡大する必要性があるとの考え方に立ち、新たな特別委員会を設置し検討することが望ましいとして、本特別委員会の調査を完了するものである。

## 行財政改革特別委員会

委員長 三神 祐司

本特別委員会では、平成18年第1回定例会において、逼迫した財政状況を踏まえ、健全な行政制度の確立を図るため、行財政改革に関する課題や取り組みに関する調査を目的として設置された。

本特別委員会では、延べ32回にわたり、効率的な行政運営と財政の健全化、市民協働による行政運営、議会費予算の適正化などについて、調査検討を行ってきた。

平成18年第3回定例会では、補助金の見直しのあり方や市職員の定員管理について、平成19年第3回定例会では、議会の行政改革と財政運営の健全化について、中間報告し提言をした。

今回、最終報告として、民間活力を活用した行率的な行政運営への取り組みや本庁と総合支所のあり方の見直しと

わかりやすい親切的な行政サービスが提供できる組織機構づくり、市民と行政が互いに尊重し合い、同じ目的に向かってともに行動する環境づくりなど、今後の市の行政改革の実践に参考となるよう、64の具体策を提言するものである。



## 産業経済活性化特別委員会

委員長 青沼 智雄

本特別委員会では、平成18年第1回定例会において、地域経済をめぐる厳しい現状を踏まえ、地域産業の基盤強化や雇用の創出を図るための諸施策に関する調査を目的として設置された。

本特別委員会では、19回にわたり、市内で積極的に活動している団体や関係当局から説明を聴取し、調査検討を行った。

平成19年第1回定例会では、大崎市の重要課題である産業振興の中長期的展望についての調査結果について中間報告を行った。

その後、合併間もない大崎市が早急に取り組むべき課題を絞り込み、産業全体を推進し、確かな産業基盤をつくり上げるため、特定の産業に偏ることのない「おおさき産業推進機構」の早期創設、農業に対する意欲と能力のある担い手としての認定農業者の育成、多様な農業経営による安定収入の確保を図る取り組み等に係る支援体制の強化など、地域の特性を活かし、産業の起業、育成、支援及び企業誘致等を積極的に推進するための諸施策、方向性を提言するものである。





# 会派代表質問

本市議会は、第1回定例会に限り会派代表質問を実施しており、2月15日、19日、20日の3日間にわたって行われ、9会派の各代表議員が市政全般にわたり、市長の見解をただしました。

## グローバルネット

中村 一彦

### 20万都市戦略

**問** 「宝の都(くに)・大崎」の実現に向けて、おおさき産業革命の推進と1万人雇用機会の創出を、セントラル自動車進出とどのように関連づけていくのか。

**答** 地元企業の業務拡大に直



大崎市役所本庁舎正面

**問** 大崎市民病院改革プランと大崎市民病院建設等基本計画策定の概要を伺う。

**答** 大崎市民病院改革プランは、病院事業単体としての経営面と本市財政運営全体の観点との両面の健全化に向けて、総務省の公立病院改革ガイドラインに基づき策定したい。大崎市民病院建設等基本計画は、新病院建設の設計に必要な建設方針や施設の概要を整理、検討し、仮称病院改革

### 病院事業改革の基本方針

結する関連企業の誘致に積極的に取り組むとともに、従業員の居住地として子育て支援施設、教育環境、医療体制等が整備された本市の魅力が市民一体となって発信していきたい。

さらに、県立工業高校等へ自動車産業関連学科の新設を県に働きかけていきたい。

## 大崎セフンネット

佐藤 和好

### 統合農業委員会事務局の設置場所

**問** 平成20年7月に統合大崎市農業委員会が発足する。事務内容と大崎市の地形的特性、市民の利便性をかんがみ、古川地域に設置すべきと思うが、事務局設置場所の考えを伺う。



宮城県大崎合同庁舎

**答** 市民サービス向上の観点から、地域ごとの許可証明などの申請件数を幅広く検討しているが、県産業振興部等との連携による行政指導の面から、大崎合同庁舎内の余裕スペースがあれば有力な候補として考えていきたい。

### 頑張る地方応援プログラム

**問** 国の頑張る地方応援プログラムに平成19年度は4プロジェクトを応募し、単年度に3千万円の支援を受けた。既応募での関連補助事業は優先採択のメリットがあるが、新年度の取り組みを伺う。

**答** 4プロジェクトの総事業費は約2億3千万円となっている。20年度は、地方再生戦略の元気再生事業との併用を検討し、補助事業の選定を行いながら有効活用を図っていく。

本市のやる気を内外にアピールする観点から追加応募をしていく。

## 黎明クラス

氷室 勝好

### 市民病院建設までの財源計画

**問** 市民病院本院の開院は、平成25年度を目標として現在地もしくはそれ以上の利便性のある場所にとあるが、その財源計画をどのように考えているのか。

**答** 総合計画における財政シミュレーションでは、本院、

岩出山分院の建設を、平成22年から24年までの3力年で181億の事業費を計上している。そのうちの4分の1は、合併特例債を充当し、元利償還金の70%を普通交付税への算入を見込んでいる。

残りの4分の3には、病院事業債を充当し、元利償還金の2分の1の45%を普通交付税算入額に見込んでいく。

### 教育の充実と学力向上策

**問** 全国学力テストの結果、県内の小中学校は全国平均値を下回り、本市の小中学校は県平均値とほぼ同じで、中学校は県平均値よりやや低い結果となったが、学習指導要領の改訂に対する取り組みとあわせて、学力向上策をどのように考えているのか。

**答** テスト結果の分析及び研究指定校の研究成果など、公開研究会等を通じてながら各学校の取り組みに生かし、教育課題テーマへの取り組み等の抜本的見直しを図りながら学力向上を進めていきたい。

## 第1回定例会

議会中継(LIVE)  
アクセス件数  
**7,128**件

# 大 志 会

相澤 久義

## 大豆処理施設と 仮称大崎東部縦断道の建設

**問** 農免農道古川東部地区整備事業の東江合橋が完成する。農免農道には農業施設建設が義務づけられている。今後、大豆作付面積拡大が見込まれ、既存施設では処理能力が不十分であるため、大豆処理施設の建設計画の考え方を伺う。

**答** 大豆センターの整備拡充については、事業主体のJ A と協議検討をしていく。



工事が進む東江合橋

環状道路、宮内・北屋敷線は、20年度に調査及び実施設計業務に着手する計画である。橋梁の整備も見込み交通量や費用対効果を検討し、設計業務に反映させていきたい。

## 日本共産党大崎市議会議員団

小沢 和悦

## 市民病院の建てかえ場所

**問** 市長は選挙公約で、なせ建てかえ場所を「現在地」としたのか。また、市長は今議会の施政方針で「現在地もしくはそれ以上の立地条件の場所」と表明したが、それぞれの理由を伺いたい。そして、今、市長は選挙公約と異なる結論も考えているのか、伺いたい。

**答** 合併協議会では新市で決めることされていた。市長選挙は、市民病院本院建てかえ場所を「現在地」とするのか、別な所に移転するののかのみに関心が特化した異常な中での選挙となったので、常識からすれば現在地と思ったから公約に掲げた。市長になり、懇話会等での病院を応援していただく方々の意見も受けとめ「もしくは……」とした。

# セントラル大崎

高橋 憲夫

## 合併自治体としての 諸施策

**問** 合併は行政のスリム化であり、結果的に情報公開制度等の整備で透明性を確保した中で、市民にその一端を担っていた、たくさんとなるが、その推進策について伺う。



まちづくり協議会が発行した行事カレンダー

**答** 行政と地域の情報の共有化がうたわれてきている。ワークショップ等でまちづくりや協働とは何かという疑問の整理をやってきた。政策アドバイザーを中心に指導をいただきながら、チャレンジ事業交付金等の審査員も各地域の代表者によっていただいている。将来職員がやるべき仕事は何

かも踏まえながら、一歩進まなければならないと考えている。

## みらい・おおさき

門脇 憲男

## 幼稚園の民間委託

**問** 公立幼稚園の民間委託で市が目指す幼児教育が実施できるのか。

**答** また、職員の引き継ぎ等待遇も含めどうなるのか。

**問** 公立幼稚園の民間委託で市が目指す幼児教育が実施できるのか。

**答** 幼稚園の位置づけは、学校教育法の中で一段と重く改正された。幼稚園の民営化は、財政的見地や職員配置等でのメリットはある。一方で、保育料や教育の質など心配されている方もいる。本市では、政策課、教育委員会、子育て支援課を中心に幼児教育・児童保育施設運営調整会議を設置し、大崎市の幼児教育のあり方や方向性を総合的に検討していきたい。

## 社会民主党

佐々木 惟夫

## 岩出山分院の早期建設

**問** 岩出山分院の公設民営化には大変不安がある。公営で

やれないのか。

また、平成23年と言わず、安全対策上、市長の任期中に開院すべきと思うが考えを伺う。

**答** 民間は、経営責任が伴うのでサービス向上が期待できる。既に、老人保健施設の進出希望はある。今後、医療経験のあるところに分院機能を指定管理したいと考えて、公設民営とした。分院エリアの方々が、建設が実感できる作業を責任を持って進めたい。

## 公明党

横山 悦子

## 大崎市民病院への ドクターヘリ導入

**問** ドクターヘリは、医療機器を装備し、専門の医師と看護師による処置ができ、素早く救命救急センターに搬送し、医療格差の解消が期待できるが導入について伺う。

**答** ドクターヘリは、国の補助で県が設置することになっている。知事あるいは担当責任者には再三要望しているが、県は財政難という理由で、導入に踏み切れない理由で、今後、県や国に働きかけていく。

人 事

◎人権擁護委員

北村 誠太郎氏  
古川北町二丁目二番二十二号

富士 修 子氏  
古川七日町十番一号

小岩 伊 久氏  
岩出山下野目字新雨沼二十八番地二

石川 政 雄氏  
鹿島台広長字鳥屋場九番地七

◎教育委員会委員

戸 島 潤氏  
田尻蕪栗字沢田二十三番地二

◎公平委員会委員

高 橋 義 宣氏  
古川中里二丁目九番十九号

意見書

今定例会において、議員提出による意見書4件（議案第74号（同第77号）が提出され、採決の結果、議案第77号は否決され、そのほかの議案は原案のとおり可決されました。

【可決された意見書】

◎第74号 労働者派遣法の抜本改正を求める意見書

◎第75号 米・畜産・農業所得・WTO対策等農業政策の確立を求める意見書

◎第76号 乳幼児医療費助成制度への国庫負担を求める意見書

請 願

今定例会で審議された請願は、次のとおり決定されました。

【採択としたもの】

◎請願第1号 地震対策促進住宅改修工事助成制度の創設を求める請願

あなたも  
議会を傍聴して  
みませんか。

本会議を傍聴すると市政の様子が変わります。

■議場の傍聴席で傍聴

大崎市役所三本木庁舎4階に傍聴の受付があります。一般席、報道席合わせて33人の定員となっております。

■インターネットによる中継

議会のライブ中継や録画映像が視聴できます。市のホームページからアクセスしてください。

また、市政情報センター（本庁東庁舎）や市政情報コーナー（各総合支所）等にあるパソコンでも視聴することができます。

問い合わせ

議会事務局 ☎ 52-5838

議案番号	議 案 名	審議結果
報告第1号	専決処分の報告について	—
報告第2号	専決処分の報告について	—
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	原案同意
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	
議案第1号	教育委員会委員の任命について	原案承認
議案第2号	公平委員会委員の選任について	
議案第3号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第4号	専決処分の承認を求めることについて	原案承認
議案第5号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第6号	平成20年度大崎市一般会計予算	修正可決
議案第7号	平成20年度大崎市市有林事業特別会計予算	原案可決
議案第8号	平成20年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計予算	
議案第9号	平成20年度大崎市国民健康保険特別会計予算	
議案第10号	平成20年度大崎市老人保健特別会計予算	
議案第11号	平成20年度大崎市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第12号	平成20年度大崎市介護保険特別会計予算	
議案第13号	平成20年度大崎市下水道事業特別会計予算	
議案第14号	平成20年度大崎市農業集落排水事業特別会計予算	
議案第15号	平成20年度大崎市浄化槽事業特別会計予算	
議案第16号	平成20年度大崎市宅地造成事業特別会計予算	
議案第17号	平成20年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計予算	
議案第18号	平成20年度大崎市鳴子上原簡易水道事業特別会計予算	
議案第19号	平成20年度大崎市鳴子向山簡易水道事業特別会計予算	
議案第20号	平成20年度大崎市水道事業会計予算	
議案第21号	平成20年度大崎市病院事業会計予算	
議案第22号	大崎市長の選挙におけるピラの作成の公費負担に関する条例	
議案第23号	大崎市職員の自己啓発等休業に関する条例	
議案第24号	大崎市男女共同参画推進基本条例	
議案第25号	大崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会条例	
議案第26号	大崎市後期高齢者医療に関する条例	
議案第27号	大崎市企業立地促進条例	
議案第28号	大崎市企業立地促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例	
議案第29号	大崎市企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例	

議案番号	議案名	審議結果
議案第30号	大崎市鳴子温泉ゆめぐり広場条例	原案可決
議案第31号	大崎市公共事業評価監視委員会条例	
議案第32号	大崎市の行う選挙等における投票管理者等に対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第33号	大崎市部設置条例の一部を改正する条例	
議案第34号	大崎市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第35号	大崎市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
議案第36号	大崎市特別職の職員で非常勤のものに対する報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第37号	大崎市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	
議案第38号	大崎市公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例の一部を改正する条例	修正可決
議案第39号	大崎市地区集会所条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第40号	大崎市へき地保育所条例の一部を改正する条例	
議案第41号	大崎市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	
議案第42号	大崎市国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第43号	大崎市介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第44号	大崎市鹿島台温泉供給条例の一部を改正する条例	
議案第45号	大崎市市営住宅条例の一部を改正する条例	
議案第46号	大崎市市民ギャラリー条例の一部を改正する条例	
議案第47号	大崎市立幼稚園預かり保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	
議案第48号	大崎市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	
議案第49号	大崎市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例	
議案第50号	大崎市老人高額医療費貸付基金条例を廃止する条例	
議案第51号	大崎市老人高額医療費貸付条例を廃止する条例	
議案第52号	住居表示の実施区域及び方法を定めることについて	
議案第53号	指定管理者の指定について	
議案第54号	指定管理者の指定について	
議案第55号	石巻市、登米市、栗原市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町及び大郷町に公の施設を利用させることを廃止する協議について	
議案第56号	石巻市、登米市、栗原市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町及び大郷町に公の施設を利用させることの協議について	
議案第57号	大崎地域広域行政事務組合規約の一部を変更する規約の変更について	原案可決
議案第58号	専決処分の承認を求めることについて	
議案第59号	平成19年度大崎市一般会計補正予算（第8号）	
議案第60号	平成19年度大崎市市有林事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第61号	平成19年度大崎市奨学資金貸与事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第62号	平成19年度大崎市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第63号	平成19年度大崎市老人保健特別会計補正予算（第2号）	
議案第64号	平成19年度大崎市介護保険特別会計補正予算（第2号）	
議案第65号	平成19年度大崎市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第66号	平成19年度大崎市農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第67号	平成19年度大崎市浄化槽事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第68号	平成19年度大崎市宅地造成事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第69号	平成19年度大崎市岩出山簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第70号	平成19年度大崎市鳴子上原簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第71号	平成19年度大崎市鳴子向山簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第72号	平成19年度大崎市水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第73号	平成19年度大崎市病院事業会計補正予算（第2号）	
議案第74号	労働者派遣法の抜本改正を求める意見書	原案可決
議案第75号	米・畜産・農業所得・WTO対策等農業政策の確立を求める意見書	
議案第76号	乳幼児医療費助成制度への国庫負担を求める意見書	
議案第77号	後期高齢者医療制度の見直しを求める意見書	

※      は議員提出議案です

◆情報化対策特別委員会◆

- |      |       |      |
|------|-------|------|
| 委員   | 委員長   | 委員   |
| 木村和彦 | 木内知子  | 佐藤和樹 |
| 中鉢弘樹 | 相澤久三郎 | 高橋辰義 |
| 大友文司 | 高橋文司  | 遊佐憲夫 |

**編集を終えて**

大崎市の総合計画が具体的な形となって歩み始める、平成20年度の予算が一部修正され、可決されました。

今定例会でも、市民の意見を代弁した活発な議論が展開されました。今後も引き続き、議会として、切磋琢磨してまいります。

「市議会だより」が全くのゼロからスタートして、五里霧中の編集作業でありましたが、今回第9号の発行となりました。委員会の仲間に感謝しながら、今後も議会活動をわかりやすく伝える努力を続けてまいります。

皆様の御意見をお待ちしております。